

第4回サイエンス・インカレで 大阪大学から全国最多6名が受賞

2月28日(土)、3月1日(日)、神戸国際会議場で文部科学省主催の第4回サイエンス・インカレが開催されました。ファイナリストに選ばれた口頭発表部門48組、ポスター発表部門124組のうち、本学からはそれぞれ9名と8名が出場し、最多の6名の学生が表彰されました。

サイエンス・インカレは、全国の理系学生に自主研究を発表する場を設けることにより、理系学生の能力・研究意欲を高めるとともに、課題設定能力、課題探求能力、プレゼンテーション能力等を備えた創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的として開催されているものです。

大阪大学では、今年度から学部生を対象にした自主研究奨励事業を始めるなど、今後も早くから研究に取組もうとするやる気のある学生を応援していきます。



(写真提供：サイエンス・インカレ事務局)

独立行政法人科学技術振興機構理事長賞	
理学部物理学科 3年 岩切秀一さん	「The Noise Knows ～核スピン偏極ゆらぎを利用した「ゆらぎの定理」の検証～」
サイエンス・インカレ奨励表彰	
工学部地球総合工学科 4年 湊文博さん	「強震動と津波避難に関するハイブリッド評価 ー南海トラフ巨大地震による和歌山県串本町を例としてー」
基礎工学部システム科学科 4年 浅山弘孝さん	「動的プロジェクションマッピングを前提とした3Dプリンタ出力へのマーカ埋め込み」

各協力企業・団体賞

NJS賞(日本上下水道設計株式会社)	
工学部地球総合工学科 3年 臼井彰宏さん	「避難対象者が必要とするソフト防災対策の優先度の分析 ー親水公園都賀川を例に水難事故のさらなる減少を目指してー」
Future賞(日本曹達株式会社)	
工学部応用自然科学科 4年 三橋由季さん	「環状オリゴ糖による植物油中の有害脂肪酸除去の実現」
ワイエムシイ賞(株式会社ワイエムシイ)	
理学部化学科 4年 佐原慶亮さん	「化学実験を用いたキラルな物質間の相互作用の探求」

大阪大学所蔵の野中古墳出土品が重要文化財へ

3月13日(金)、国の文化審議会が開催され、大阪大学が所有する野中古墳出土品について重要文化財(美術工芸品)への指定が文部科学大臣に答申されました。本学における重要文化財の指定は、適塾(旧緒方洪庵住宅、1964年指定(建造物))について2件目で、美術工芸品としては初めてとなります。

大阪府藤井寺市にある野中古墳は、大阪平野南東部の古市古墳群に含まれる5世紀前半の方墳(1辺37m)で、2010年に国の「世界遺産暫定リスト」に記載された百舌鳥・古市古墳群の「構成資産」の一つにもなっています。

詳しくは、大阪大学ホームページをご覧ください。



外国人留学生修了パーティを開催

3月16日(月)、外国人留学生修了パーティを千里阪急ホテルで開催しました。

このパーティは、平成27年3月に本学を修了(卒業)予定の外国人留学生とその家族を平野俊夫総長が招待し、祝賀・懇談の場とするもので、毎年開催しています。

当日は、本学教職員をはじめ、修了者のホストファミリーやボランティア、家主の方々も含めて約240名が参加し、参加者は写真撮影や団らんを楽しむなど、終始和やかなひとときを過ごしていました。

また、参加した留学生からは、「阪大の学生はフレンドリーだった」「留学生相談室がとても親切で安心して学生生活を送ることができた」「博士後期課程に進学しても頑張りたい」などの声が聞かれました。



中之島センターに看板を設置



マチカネワニ化石の銘板

昨年、国の登録文化財(天然記念物)に指定されました総合学術博物館所蔵のマチカネワニ化石の銘板が文化庁から交付され、博物館に展示しました。

